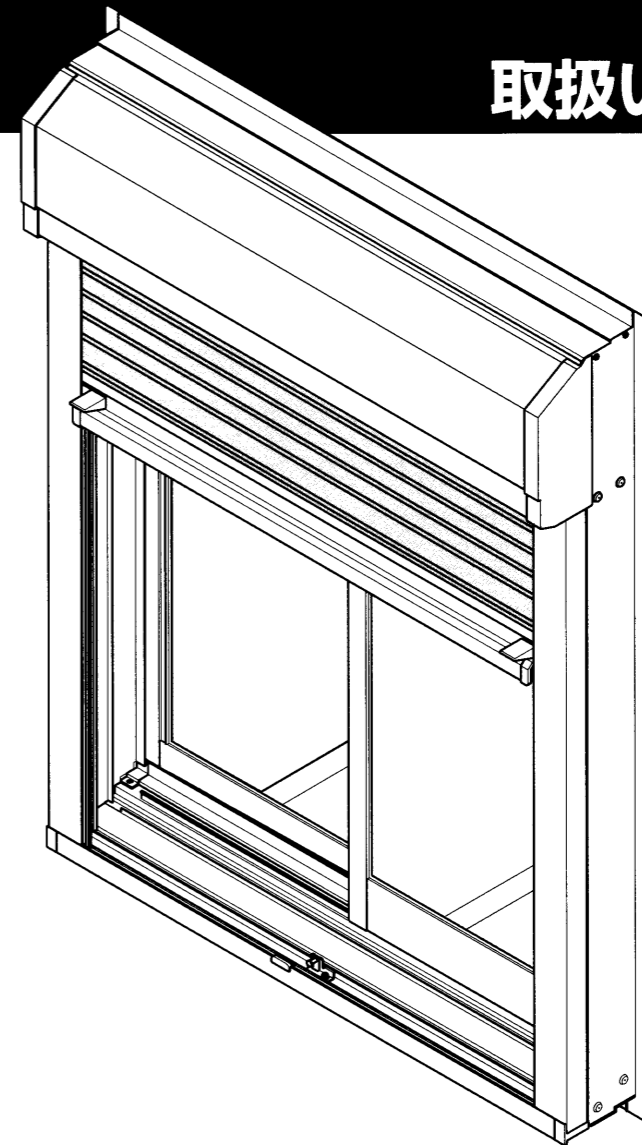


TOSTEM

窓シャッター イタリヤ (電動タイプPRS仕様)

取扱い説明書



警告

- この取扱い説明書を読んで理解するまでは、「イタリヤ」の操作およびお手入れをしないでください。
- この取扱い説明書は、ご使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるよう大切に保存してください。



目次

重要なお知らせ	1
1.安全について	2
警告用語の種類と意味	2
特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください)	2
2.「イタリヤ」について	5
プレッシャーリターンセンサーとは	5
各部のなまえとはたらき	6
本体	6
壁スイッチ(GZAZA0002)	7
3.操作のしかた	8
壁スイッチの操作のしかた	8
4.イタリヤの異常表示	9
赤の点滅	9
緑の点滅	9
5.停電時開閉機構の使いかた	10
停電時開閉機構とは	10
開閉のしかた	10
停電復帰後の操作のしかた	10
手掛けの位置変更	11
6.安全ロック機構の使い方	12
安全ロックとは	12
安全ロックの操作のしかた	12
7.点検とお手入れ	13
点検	13
プレッシャーリターンセンサーの作動点検	13
お手入れ	14
8.シャッターが動かない場合	15
シャッターが動かない場合	15
保証について	16

警告

安全のために、必ず守ってください。

「イタリヤ」の操作およびお手入れの際は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用または誤用によるけがおよび損害が発生した場合は、トステム株式会社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって「イタリヤ」の操作およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ事項	連絡先	所在地・TEL
商品全般 (下記以外の場合)	最寄りの トステム(株)営業所	
故障・修理	トステム(株) アフターサービスグループ	〒136-8535 東京都江東区大島2-1-1 フリーダイヤル (0120)365-413

1.安全について

この章では、「イタリヤ」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

警告用語の種類と意味

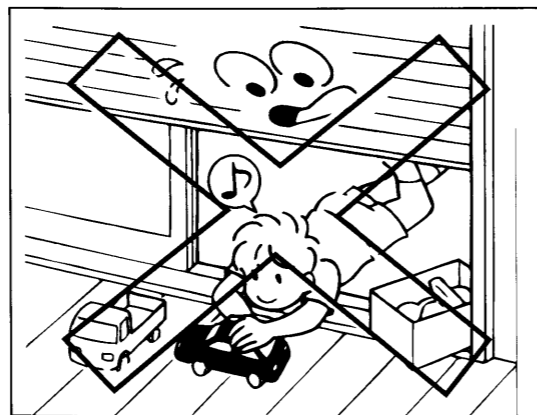
この取扱い説明書では、危険度(または事故の大きさ)によって、次の2段階に分類しています。警告用語が持つ意味を理解し本書の内容(指示)に従ってください。

警告用語	意味
▲ 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障等につながる場合に用います。

特に注意していただきたいこと(安全のため必ずお守りください。)

▲ 注意

- 「イタリヤ」を改造しないでください。とくに、モーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。
- 「イタリヤ」開閉の際は周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。はさまれてけがをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 外開きサッシに取付けてある場合は障子が閉まっていることを必ず確認してください。
- 開閉中には開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。
- 壁スイッチの開ランプ(赤)が点滅した場合は、至急人・物をはさまっていないことを確認してください。

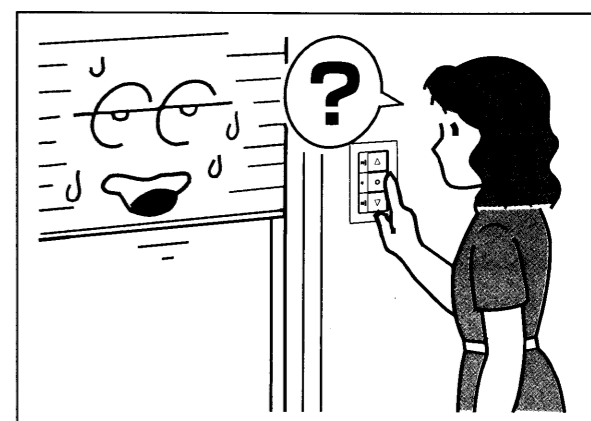


▲ 注意

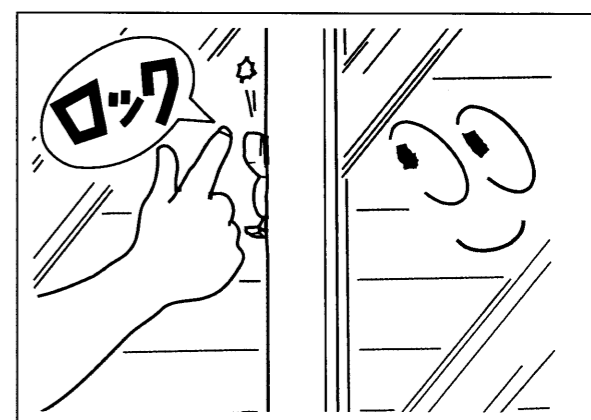
- 点検口を開けて、内部の部品を触らないでください。思わぬけがをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。
- 「イタリヤ」の作動点検をする場合は、必ずP.13「点検とお手入れ」に従ってください。事故の原因となります。

お願い

- 短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置が働き、一定時間動作が停止することがあります。(故障ではありません。) 10~15分程度間をおくと、再び開閉できます。



- おやすみまたは外出の際は「シャッター」を閉め安全ロックを施錠してください(詳しくは12ページをご覧ください。)。また、必ず内側のサッシ等もロックしてください。強風・雨の際もきちんとロックをしてください。



- 「イタリヤ」下部の水切り部やガイドレール内部は常に清掃し、異物等がないようにしてください。



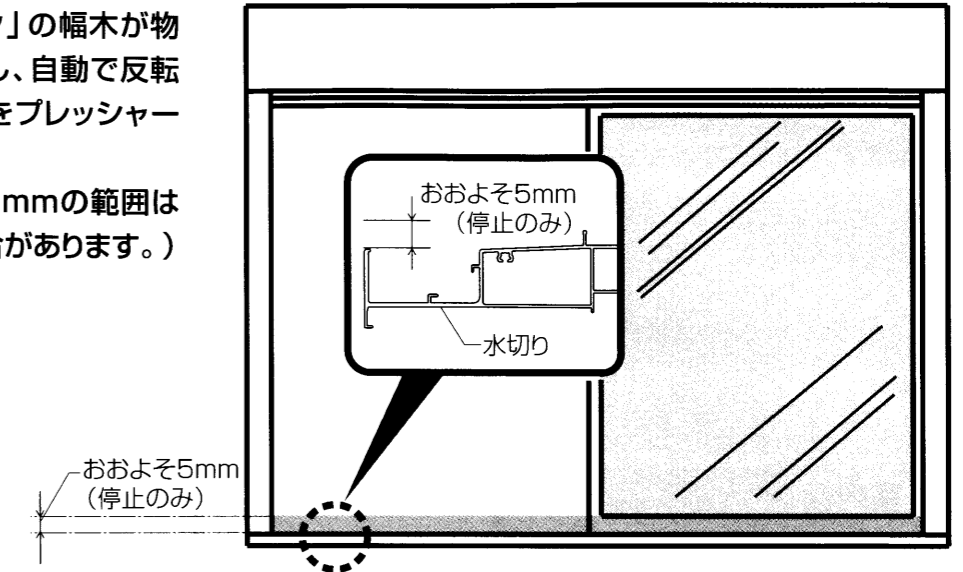
2.「イタリア」について

この章では、プレッシャーリターンセンサーと各部のなまえとはたらきについて説明しています。

プレッシャーリターンセンサーとは

シャッターが下降中、「イタリア」の幅木が物に触れると、シャッターは停止し、自動で反転上昇し、全開します。この機構をプレッシャーリターンセンサーといいます。

(ただし、水切りからおおよそ5mmの範囲は停止のみとなり、反転しない場合があります。)

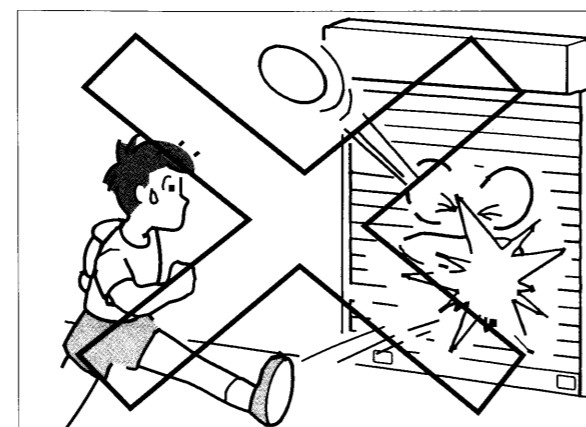
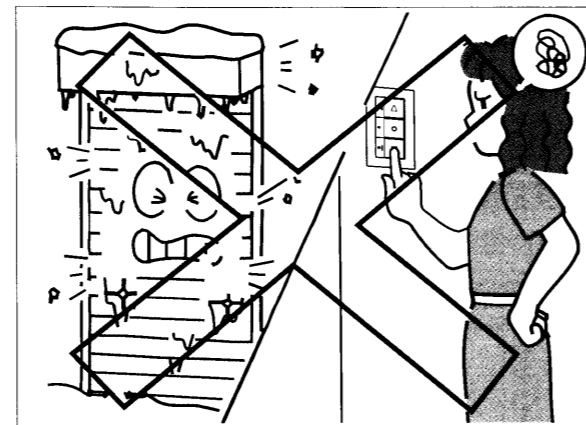
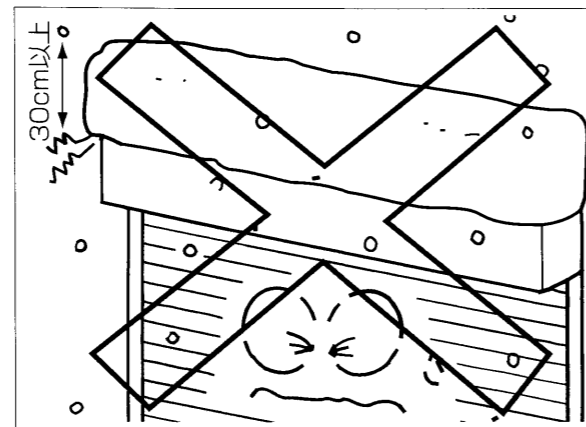
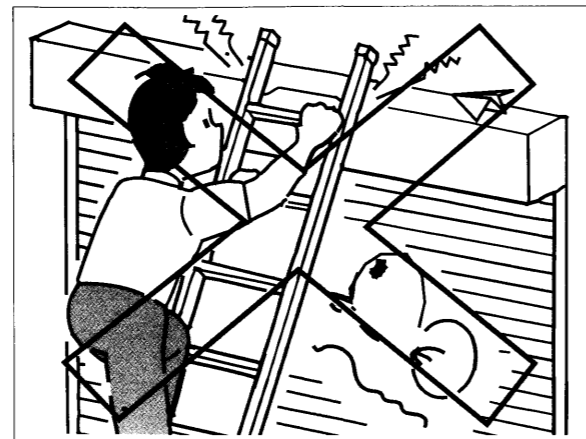


▲ 注 意

- 「イタリア」開閉の際は周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。はさまれてけがをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 外開きサッシに取付けてある場合は障子が閉まっていることを必ず確認してください。
- 開閉中には開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。
- 壁スイッチの開ランプ(赤)が点滅した場合は、至急人・物のはさまっていないことを確認してください。

お願い

- 「シャッターボックス」にはしごをかけたり、上にのったりしないでください。変形するおそれがあります。
- 「シャッターボックス」に雪が30cm以上積もった場合は、必ず取り除いてください。また、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。
- 冬季等に「イタリア」が凍結した場合は、必ず溶けてから操作してください。シャッターボックスが壊れたりスラットに傷がついたりし、故障の原因となります。
- 「イタリア」に物をぶつけないでください。変形し、スムーズに開閉しなくなるおそれがあります。



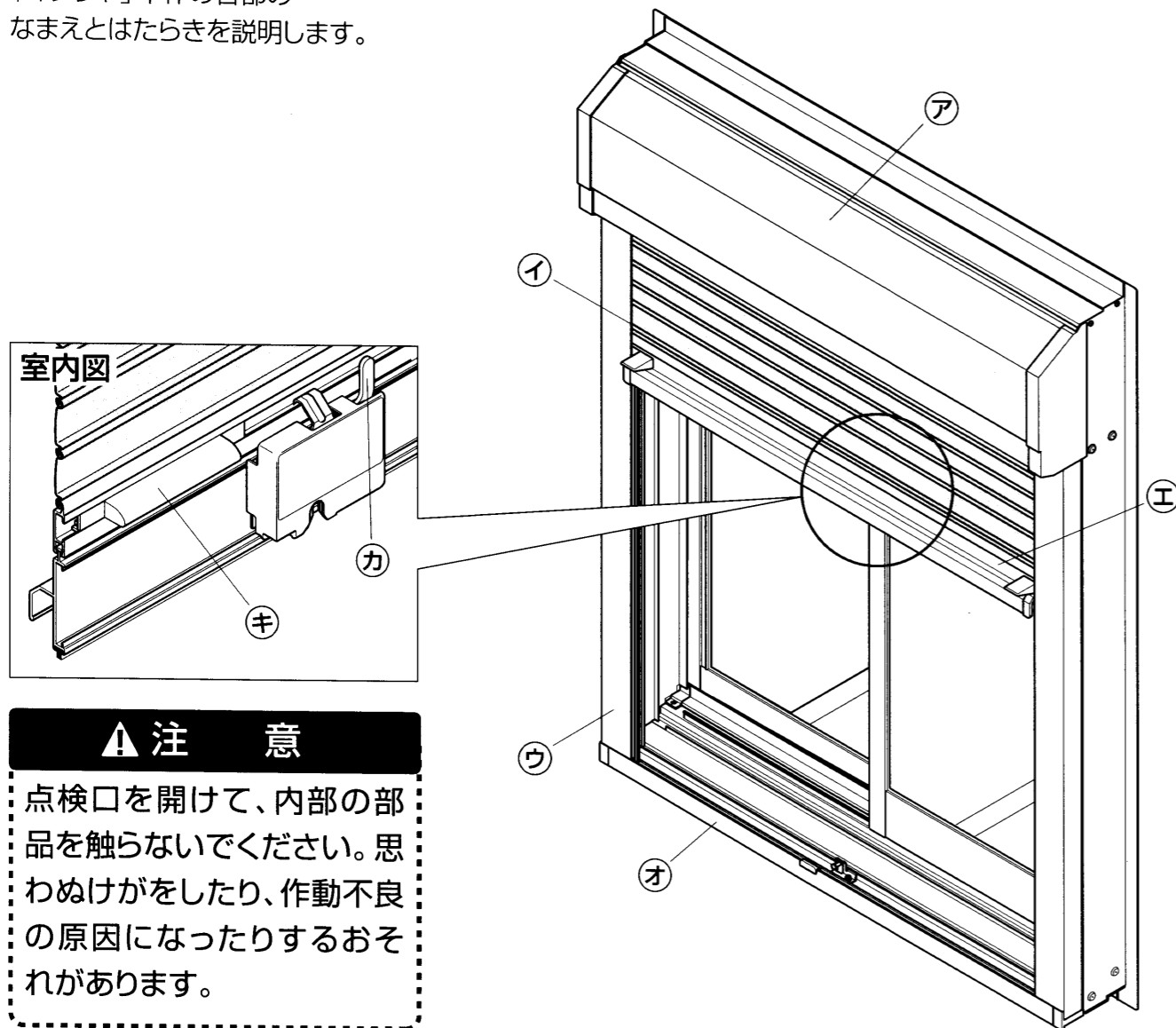
各部のなまえとはたらき

「イタリア」の操作は「3.操作のしかた」の手順に従ってください。

■本体

「イタリア」本体の各部のなまえとはたらきを説明します。

「イタリア」全体図



▲ 注意

点検口を開けて、内部の部品を触らないでください。思わぬけがをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

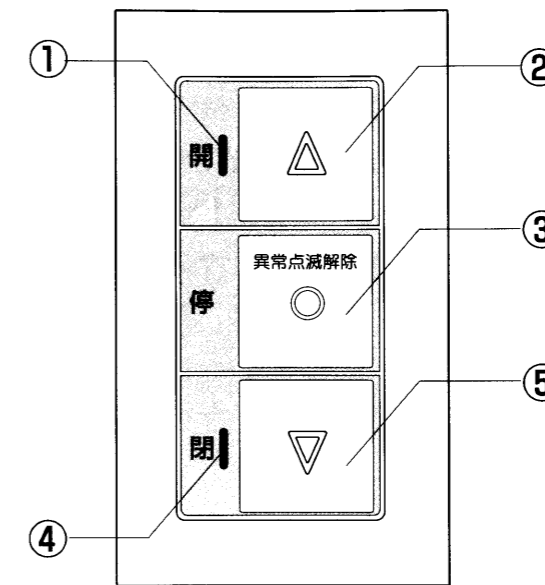
●本体各部のなまえとはたらき

記号	なまえ	はたらき
ア	シャッターボックス(点検口)	スラットおよびモーター等を収納する部分です。モーター等の点検口です。
イ	スラット	「イタリア」のカーテン部分です。
ウ	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
エ	幅木	スラットの最下部で、防犯性を高める安全ロックが組み込まれています。
オ	水切り	「イタリア」の底の部分で、雨水等を流します。
カ	安全ロックレバー	おやすみや外出するとき使用します。
キ	手掛け	手動開閉のとき使用します。

■壁スイッチ (GZAZA0002)

操作のしかたは「3.操作のしかた」をご参照ください。

壁スイッチ



●壁スイッチのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ(赤)	シャッターが全開または途中停止の場合、点灯します。(少しでも開いていると消灯しません。)以下の2つの状況を感じると、点滅します。 ・下降中にプレッシャーリターンセンサーが異常を検知した場合。 ・幅木にぶらさがった場合。
②	開スイッチ	シャッターが上昇します。
③	停止スイッチ	シャッターが途中停止します。開ランプ(赤)の点滅を解除します。
④	閉ランプ(緑)	シャッターが全閉の場合、点灯します。停電復帰後、点滅します。
⑤	閉スイッチ	シャッターが下降します。

※開・閉スイッチを同時に操作した場合は、停止スイッチと同じはたらきをします。

3.操作のしかた

この章では、「イタリア」の操作のしかたについて説明しています。

壁スイッチの操作のしかた

▲注意

- 開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。はさまれてけがをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 外開きサッシの場合は、障子が完全に閉まっていることを確かめてから開閉してください。
- 開閉中には、顔や手を出さないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。
- 壁スイッチの開ランプ(赤)が点滅した場合は、至急人・物がはさまっていないことを確認してください。

■壁スイッチからの操作のしかた

1.開ける場合

開スイッチ②を押してください。

- シャッターが上昇し、開ランプ(赤)①が点灯します。
- シャッターを全開または途中で止めたとき、開ランプ(赤)①が点灯します。

2.閉める場合

閉スイッチ⑤を押してください。

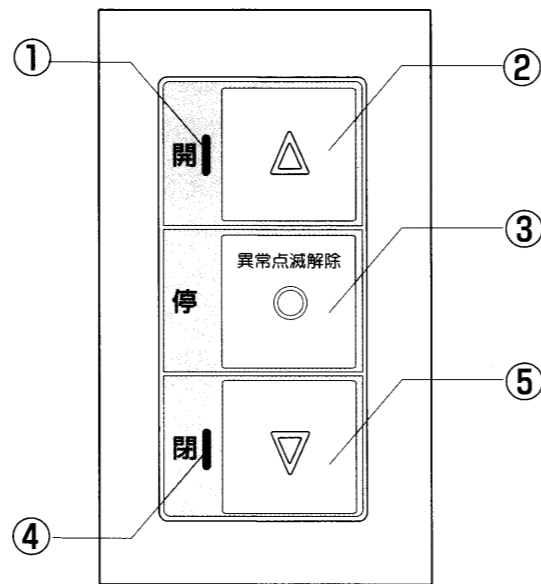
- シャッターが下降します。
- シャッターが全閉のとき、閉ランプ(緑)④が点灯します。

3.途中で止める場合

停止スイッチ③を押してください。

- シャッターが途中停止し、開ランプ(赤)①が点灯します。

壁スイッチ (GZA0002)



●壁スイッチのなまえ

番号	なまえ
①	開ランプ(赤)
②	開スイッチ
③	停止スイッチ
④	閉ランプ(緑)
⑤	閉スイッチ

4.「イタリア」の異常表示

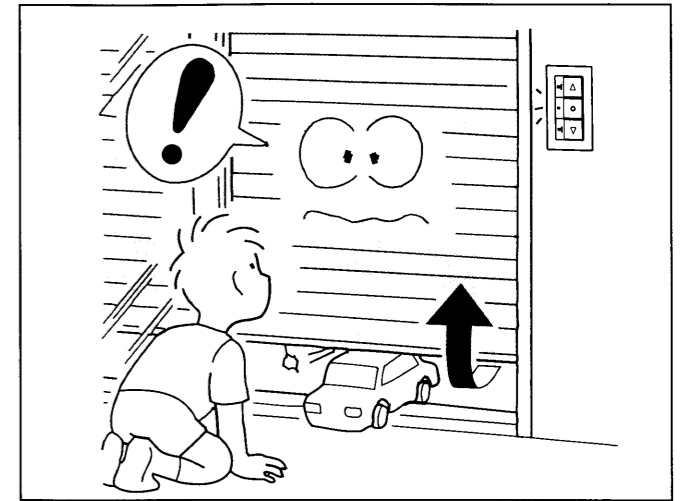
「イタリア」が異常を感知した場合、開ランプ(赤)、閉ランプ(緑)が点滅します。

この章では、異常表示の原因と解除のしかたを説明します。

赤の点滅

■開ランプが赤の点滅をするのは以下の原因が考えられます。(故障ではありません。)

- 1.シャッター下降中に、幅木が異物(人・物など)を感知した場合
→シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。
- 2.シャッター上昇中に幅木にぶらさがった場合
→シャッターはその場で停止します。
- 3.安全ロックをかけたまま、シャッターを操作した場合
- 4.強風時に開閉した場合



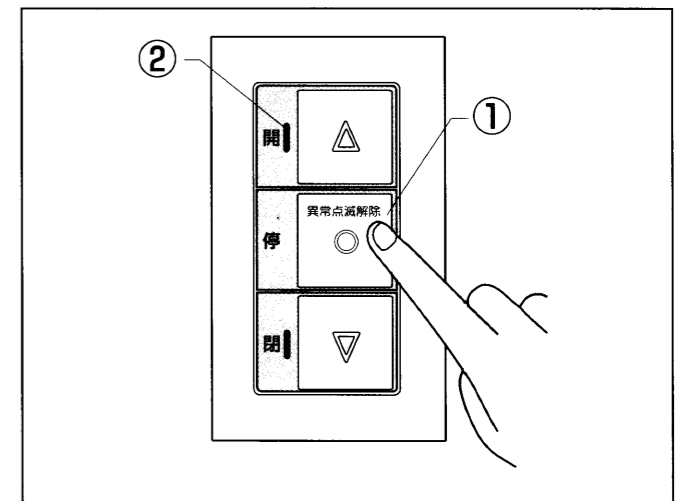
■開ランプ(赤)点滅の解除のしかた

停止スイッチ①を押してください。開ランプ(赤)②の点滅を解除します。

■強風時に異常表示(開ランプ(赤)点滅)した場合の操作のしかた

障子を閉め、異常表示を解除した後に開閉してください。

それでも異常を表示する場合は、異常表示を解除せず開または閉スイッチを押し続けてください。異常表示は操作終了後、解除してください。



緑の点滅

停電復帰後、壁スイッチの閉ランプ(緑)が点滅します。(故障ではありません。)

解除のしかたは「5.停電時開閉機構の使い方」の「停電復帰後の操作のしかた」をご参照ください。

5. 停電時開閉機構の使い方

この章では、手動での開閉のしかたについて説明しています。

停電時開閉機構とは

「イタリア」は電動式シャッター雨戸ですが、停電時には手動でも開け閉めできます。

お願い

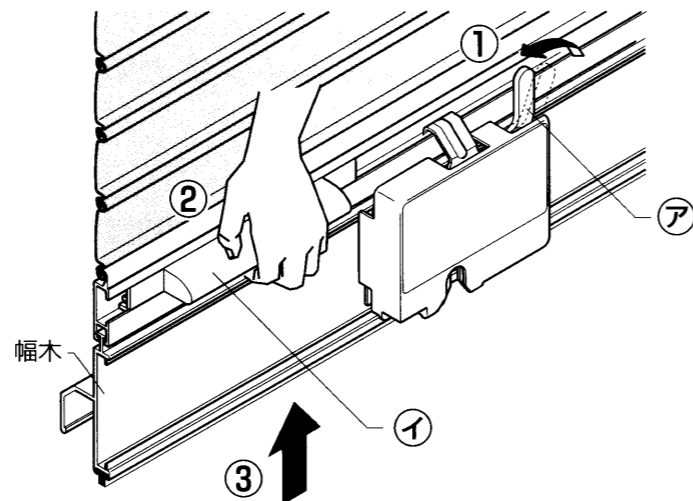
非常時にも確実に開閉できるよう、「開閉のしかた」に従って1年に1回程度作動確認をしてください。

作動確認は、必ずブレーカーを落とし、電源を切ってから行ってください。

※電源が入っていると手動で開閉できません。

開閉のしかた

- ① サッシの障子を開き、安全ロック⑦を解除します。
- ② 手掛け①を持ちます。
- ③ そのまま幅木を持ち上げ、シャッターを開けます。



停電復帰後の操作のしかた

停電復帰後、壁スイッチの閉ランプ(緑)が点滅します。
この場合、次の操作をしてください。

■シャッターが全開状態の場合

閉スイッチを押し、シャッターを全閉にしてください。閉ランプ(緑)の点灯に変わり通常動作に戻ります。

■シャッターが全閉状態の場合

開スイッチを押し、シャッターを全開にしてください。開ランプ(赤)の点灯に変わり通常動作に戻ります。

■シャッターが途中位置で停止している場合

閉スイッチを押してください。全閉後、シャッターが自動で上昇しますので、そのままの動作状態にしてください。開ランプ(赤)の点灯に変わり通常動作に戻ります。

※開スイッチを押した場合は全開後、閉スイッチを押し、シャッターを全閉にしてください。

閉ランプ(緑)の点灯に変わり通常動作に戻ります。

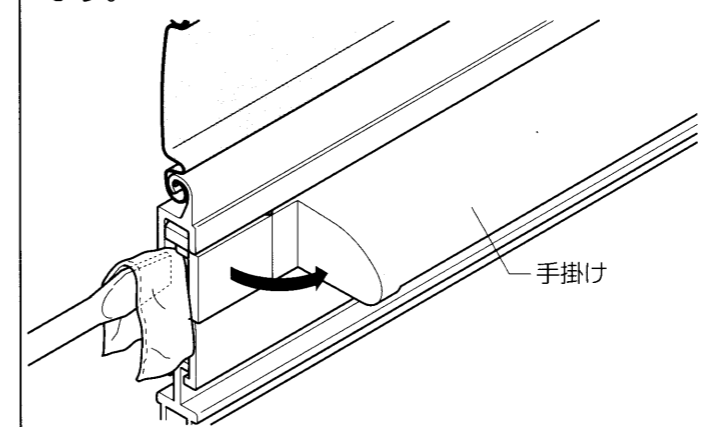
(全開にただけでは閉ランプ(緑)の点滅は解除されません)

▲ 注 意

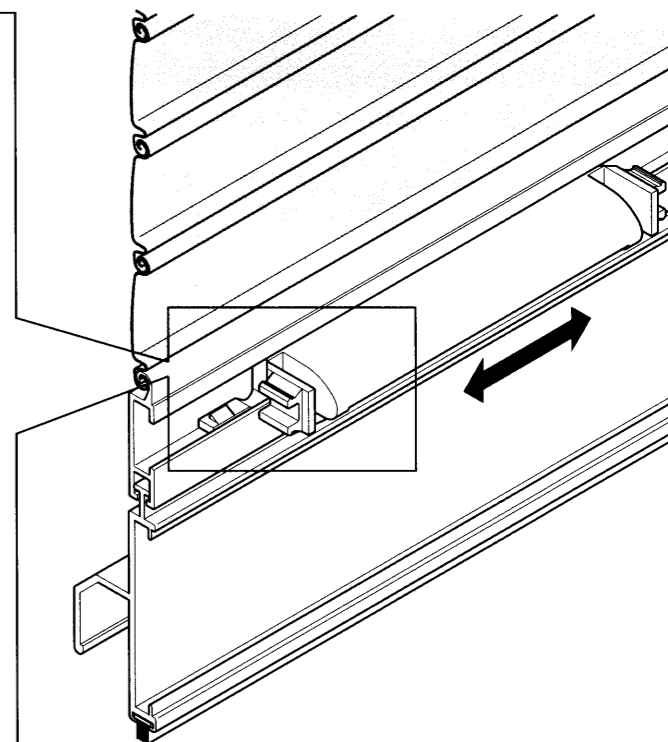
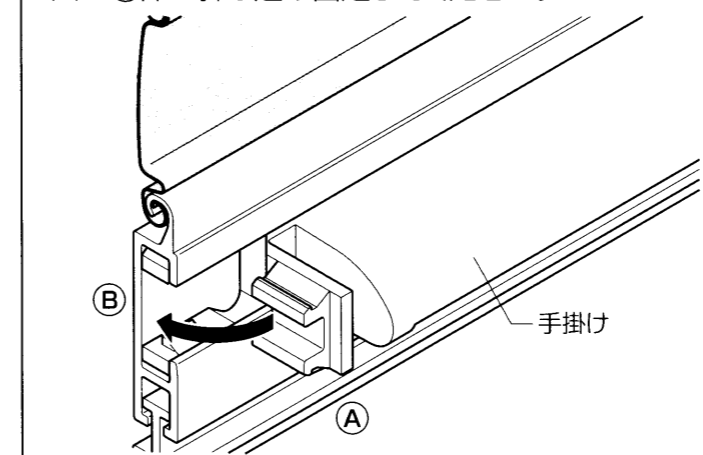
- 開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。はさまれてけがをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 開閉中には、顔や手を出さないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

手掛けの位置変更

① マイナスドライバー等にかぶせ、つめをはずします。



② 手掛けを希望の位置までスライドさせA部を折り曲げB部へ押し込み固定してください。



6.安全ロック機構の使いかた

この章では、安全ロックの操作のしかたについて説明しています。

安全ロックとは

「イタリア」は自動ロック機構を装備していますが、電源が切れると自動ロックは解除します。そこで、おやすみ、外出時の防犯性を高める為、手動式のロックを装備しています。このロックを安全ロックといいます。

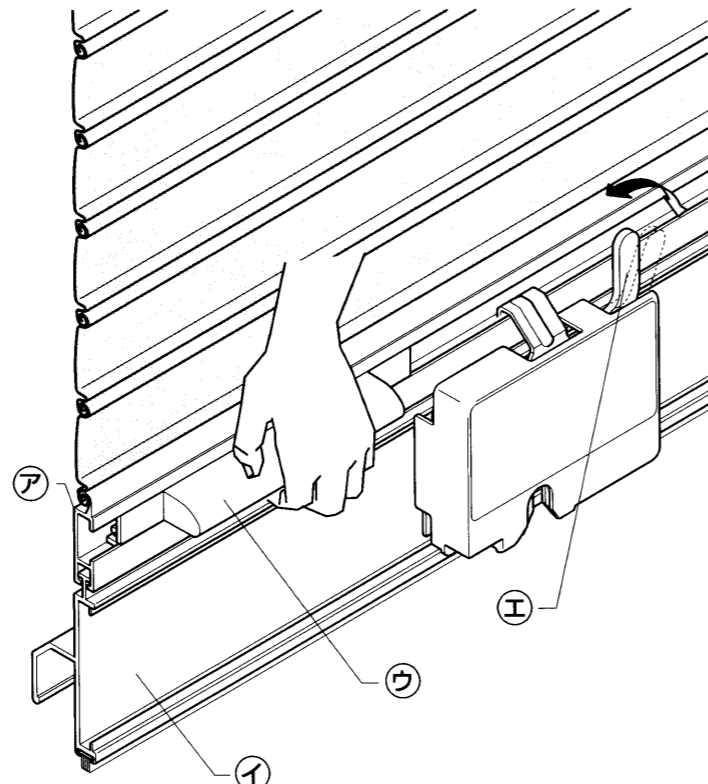
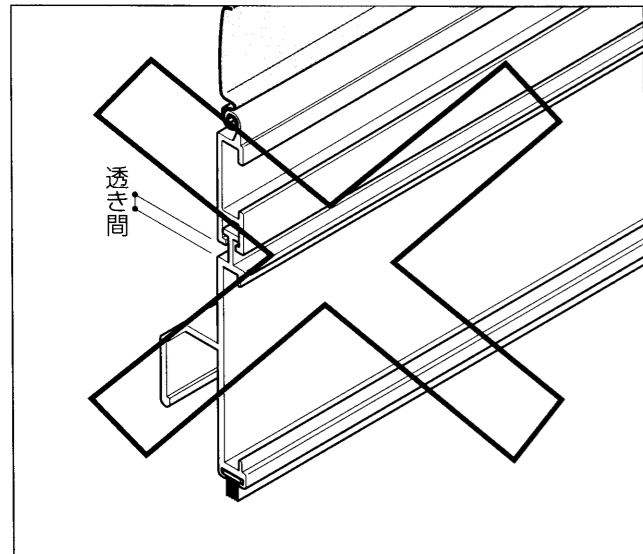
お願い

- おやすみ時や外出時は、安全ロックを施錠してください。
- 内側のサッシ等も必ずロックしてください。

安全ロックの操作のしかた

■施錠方法

1.シャッターを全閉にしてください。そのとき、幅木(上)㉔と幅木(下)㉕の間に透き間がないことを確認してください。



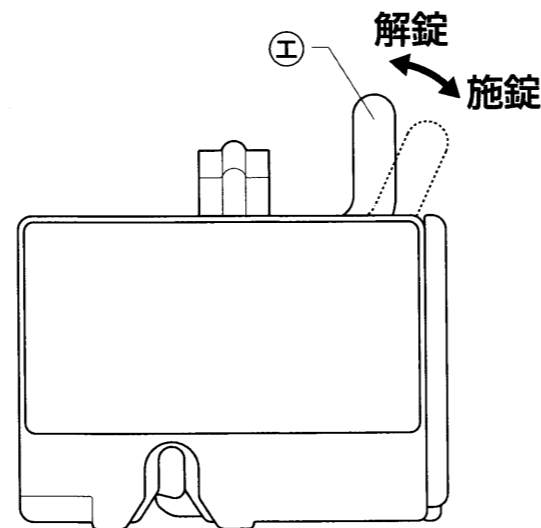
2.幅木(上)の手掛け㉔を下に押しつけながら安全ロックレバー㉖を施錠側に倒してください。

■解錠方法

安全ロックレバー㉖を解錠側に倒してください。

お願い

安全ロックを施錠したまま、シャッターの開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。



7.点検とお手入れ

この章では、「イタリア」の操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

点検

「イタリア」を安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。点検を行って、「イタリア」に作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店またはトステム(株)営業所へご連絡ください。

▲注意

プレッシャーリターンセンサーの点検を行う場合は、必ず本章の手順に従ってください。本章の手順に従わない場合、事故のおそれがあります。

●点検箇所

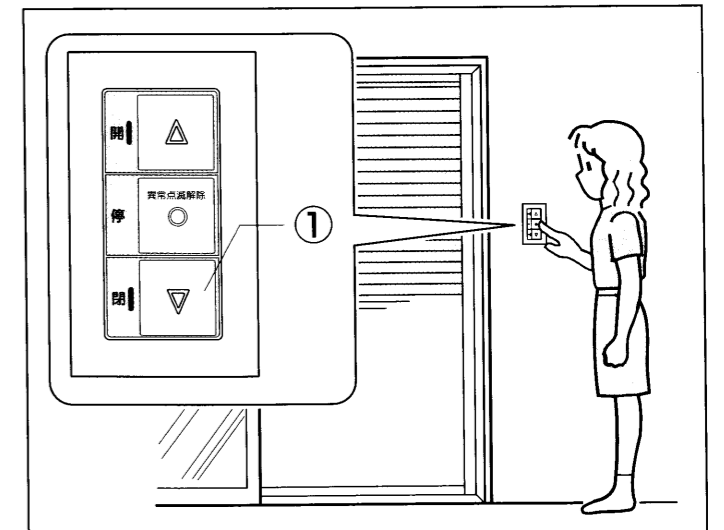
番号	点検部分	点検内容
1	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないような傷や曲がり等の変形はないか。
2	プレッシャーリターン センサーの作動	プレッシャーリターンセンサーが作動するか本章の点検手順に従ってください。
3	手動開閉	操作手順に従い、手動で開閉できるか。

プレッシャーリターンセンサーの作動点検

▲注意

プレッシャーリターンセンサーを点検するときは、差し出した手が幅木に触れたら、幅木を上を上げてすぐに手を引いてください。シャッターと窓枠の間に手をはさまれるおそれがあります。

- 1.シャッターを全開にしてください。
- 2.壁スイッチの閉スイッチ①を押してください。
→シャッターが下降します。
- 3.シャッターが半分まで降りてきたら、手で幅木を押し上げます。
→シャッターの下降が停止します。
→シャッターが自動的に上昇します。
- 4.シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店またはトステム(株)営業所へご連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。
→シャッターが自動的に上昇しない。



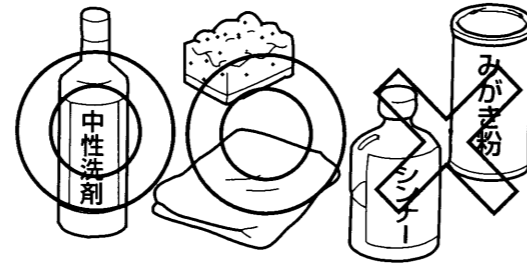
8.シャッターが動かない場合

お手入れ

「イタリア」は、アルミニウムおよび鋼板で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリは腐食の原因になりますので汚れに応じて定期的に掃除してください。

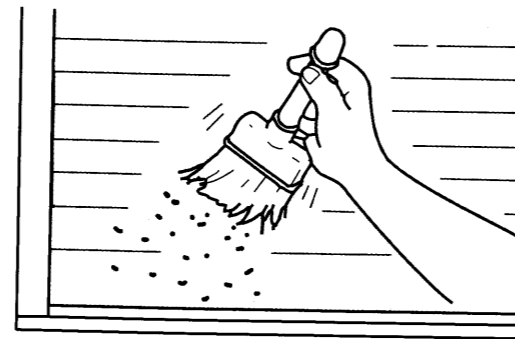
お願い

- 「イタリア」のお手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラ等を使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



1) 「イタリア」の表面に付いたゴミ・ホコリ・砂等を取り除いてください。

2) ガイドレールに付いたゴミ・ホコリ等をふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシ等で掃除してください。



3) 以下の要領で汚れを落としてください。

【あまり汚れがひどくない部分】

ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

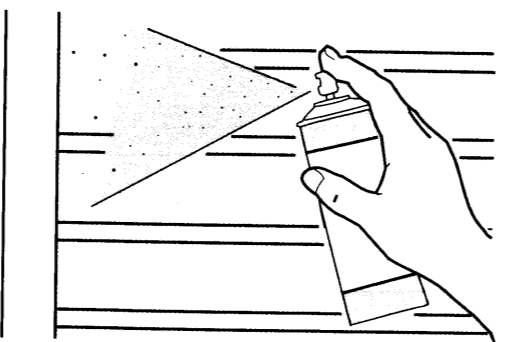
【特に汚れがひどい部分】

うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



4) 鋼板部にサビがでた場合

まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹き付けてください。その時、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



ここでは、故障の見分け方および、故障やご使用上でご不明な点の連絡先について説明します。シャッターが動かない場合、次の操作を行ってから、下表「シャッターが動かない場合」に従ってください。

- 壁スイッチの停止スイッチを押してください。

シャッターが動かない場合

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。	—
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。	—
スイッチは確実に押しましたか？	本書の操作方法に従ってください。本書の「3.操作のしかた」を参照してください。	P.8
開ランプが点滅していませんか？	本書の指示に従って操作してください。本書の「4.イタリアの異常表示」を参照してください。	P.9
安全ロックが施錠側になっていませんか？	解錠側にしてください。	P.12
ガイドレールに障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。	—
ガイドレール・スラット等が変形していませんか？	変形している場合はただちに「イタリア」の使用を中止し、「重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。	P.1
5分以上連続して開閉しませんでしたか？	10～15分程度休ませてから開閉してください。	P.3
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待つてから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.4

●お問合わせ先については、P.1「重要なお知らせ」を参照してください。



保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保障内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にご相談ください。

■対象商品 …… サッシ・ドア商品

■保証期間 …… 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)但し、商品からの雨水侵入については10年間とします。
注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■保証内容 …… 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水侵入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項 …… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合。(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合。
- ③商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗等。木製品の反り、干割れ、変色等)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色等)又はこれらに伴うさび、かび等その他類似の不具合。
- ④自然現象や住環境に起因する結露等の不具合。
- ⑤環境が特に悪い地域又は場所での腐食及び不具合。(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑥天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑦施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。
- ⑧犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合。
- ⑨引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- ⑩お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合。
- ⑪本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑫犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社商品相談窓口にお問い合せください。